

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 5年 4月 1日

事業所名 スマイルともにー2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	8				
	②	職員の配置数は適切である	3	3	2		・送迎中の職員が多い 時間帯は配置職員が 不足気味 ・職員の急な休みに対 し、対応が必要
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	4	2	2		・スロープの設置など ・車イス利用者に対し ては不可能
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 している	6	2		昼礼や合同会 議で行っている	広くという表現にたいし てコメントできない
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	8				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	7	1			わからない
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	8				
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	8			職員の意見も 吸い上げ前年 度よりも多く研 修を実施	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	6	2			・標準化されたアセスメ ントツールの意味があ いまいなのでわから ない ・標準化までは至って いない
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	1	一職員が立案 する場合もある	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	7	1			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	7	1		利用者さん主 体で活動内容 を決めている	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	8				
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	7	1		朝礼、昼礼で 打ち合わせを している	細かな役割までは決 めていない	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑬	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	1	翌日の朝礼で行っている	・支援後の打ち合わせはない
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			「支援記録の書き方」の研修を実施	
関係機関や保護者との連携	⑮	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			6か月に一度実施	
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	8			ガイドラインと事業計画について内部研修を年1回行い、実行	
	⑰	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1			
	⑱	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	1			
	⑲	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	2	3		医ケア児はいない
	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3	3		・わからない ・今の所、実績なし ・保護者からの情報共有のみ
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	4		・必要があれば行う ・依頼があれば保護者了承の基、情報を提供する	・前例が少ないのでわからない
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	1	会議などで情報共有し連携することはあるが、研修の機会はない	・わからない ・実績なし
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7	1		・児童クラブのイベントへ参加 ・地域の演奏会に参加	
	㉔	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	5	3			わからない
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8				
㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1	3	・相談受付と連携、出来る範囲でのアドバイスのみ	・そのような支援の話は聞いていない	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8				
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1		必要があれば随時行っている	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	4		・保護者間の連携支援の話は聞いていない ・コロナの為、中止
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			迅速に管理者が対応	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1			
	③⑮	個人情報に十分注意している	8				
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	5		コロナの為、中止	
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	2			保護者への周知が未達成
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8				
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8				
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	2		身体拘束についても研修済み、保護者への説明を行い計画に記載	
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2		医師からの指示を保護者が職員へ共有してくれている	
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			3月に事例検討を行い事例集を作成	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。